



熟練エンジニアの手で高精度ふたたび! 工作機械のオーバーホール

機械の救急救命隊。匠の技でミクロンを追求!

株式会社山崎工業

<http://www.yamazaki-industry.co.jp/>

〒800-0304

福岡県京都郡刈田町鳥越町1-32

TEL: 093-436-5578

FAX: 093-436-5583

メール: nonaka@yamazaki-industry.co.jp



ワンポイントPR

1971年(昭和46年)に創業した弊社は、ロール研削盤を始め、平面、内面研削盤の修理および改造を得意としています。工作機械の重要部分である摺動面の摺り合わせ技術はまさに匠の技で、若い技術者へ伝承されています。ほかにも旋盤、フライス盤、マシニングセンターなど、あらゆる工作機械のレトロフィット、リブレースも手掛けています。2008年7月、弊社はロール研削盤1号機を開発し、世に送り出しました。今年2号機の製作に取り掛かっています。お気軽にお問い合わせください。

工作機械のロングライフ化はエコロジー!

三宝精機工業株式会社

<http://www.sanpo-seiki.com>

〒244-0813

神奈川県横浜市戸塚区舞岡町405番地

TEL: 045-822-3561

FAX: 045-824-0151

メール: welcome@sanpo-seiki.com



ワンポイントPR

弊社はレトロフィットで30年、オーバーホールでは50年以上にわたり、機械設備のロングライフに貢献してきました。脱温暖化、CO₂削減を実現しなくてはならない今、工作機械の環境も変わってきました。もう新しいものを、どんどん作る時代ではありません。弊社はオーバーホールやレトロフィットを通じて工作機械のロングライフ化を実現し、「地球環境保護」に貢献します。

旋盤、フライス盤、マシニングセンター(MC)など、日本の工作機械はその加工性能の高さによって、世界中から高い評価を得てきた。工作機械の業界団体である日本工作機械工業会(日工会)が創立したのは1951年。半世紀以上も前のことだ。この長い歴史の中で、日本の工作機械メーカーから多くの名機が生み出されてきた。しかし、残念なことに統合や廃業などですでに現存しないメーカーもある。

どんなに高性能の加工能力を持っていたとしても、10年、20年と使っていくうちに、部品の消耗などの経年変化により、工作機械が持つ本来の性能を引き出すことができなくなってしまう。しかしベアリングやポンプ、ギアなど、組み込まれている部品の交換や、精度の調整などを行えば、古い工作機械でも高い精度の加工を実現することができる。

メーカーがすでにサポートをしていない名機、現存しないメーカーの名機、これらを現役復帰させるのがオーバーホールという技術だ。調整、部品交換から、精度出しを行うことで、加工性能をよみがえらせる。熟練のオーバーホール職人の手にかかれば、導入時よりも高い加工性能に向上させることも可能だ。

より一層の環境負荷低減を目指すため、リサイクル、リユースといった、資源や既存の設備を有効に活用する考え方を取り入れたモノづくりが行われている。こうした視点から工作機械のオーバーホールをみると、環境負荷の低減に貢献できるというメリットもある。

PR